



由良町

# こんにちは! 議会です

2017.5.1

NO.114

発行 / 由良町議会 発行責任者 / 議長 藤田富三  
編集 / 議会広報編集委員会

〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1  
TEL.0738 (65) 1100 FAX.0738 (65) 0226



当初予算  
議案質疑  
一般質問  
視察報告  
臨時会  
子どもアンケート

P2  
P3~  
P10~  
P14  
P15  
P16

## 笑顔いっぱい新入生

平成29年度 町内3小学校新1年生

# 平成29年 3月定例会

3月9日～21日

## 平成29年度一般会計・特別会計予算 総額66億7200万円に

今回の定例会は、町道路線の認定1件、町道路線の廃止1件、工事請負変更契約1件、条例の一部改正13件、条例の廃止1件、条例の制定1件、規約の廃止1件、事務の委託1件、委員の選任1件、補正予算6件、当初予算7件の合計34件と議会提案議案の条例の一部改正1件、すべて可決、同意しました。

また、一般質問は4名の議員が登壇しました。



## 平成29年度の主な新政策

- 地域再生マネージャー派遣事業
- 山の恵み活用事業
- ゆらブランド産品創出事業
- ハイキングコース整備事業
- 子育て支援・応援事業
- 健康ポイント制度導入
- 路線バス運行助成金
- タクシー運賃助成事業
- 防災関連施設整備事業
- 防災行政無線デジタル化事業
- 公民館改修事業
- ふるさと資料展示室改修事業
- こども園施設整備
- 子ども未来塾の拡充
- 親子教室実施事業
- 小中学校児童生徒パソコン改修事業
- 広報配布網を利用した雇用創出支援事業

## 同意された「議案35件」

- 町道の路線の認定について
- 町道の路線の廃止について
- 由良地区公共下水道事業管渠その2工事請負変更契約の締結について
- 由良町個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 由良町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
- 由良町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例
- 由良町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 由良町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 由良町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 由良町税条例等の一部を改正する条例
- 由良町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例
- 由良町介護保険条例の一部を改正する条例
- 由良町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
- 由良町地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 由良町漁業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例
- 由良町水道事業給水条例の一部を改正する条例
- 由良町生涯教育センター設置及び管理に関する条例並びに由良婦人会館設置及び管理に関する条例を廃止する条例

### ハイキングコース整備事業 500万円

**問** ハイキングコースの整備事業の目的等は。

**答** 町内の観光スポットでの滞在時間の向上と消費拡大を目的としています。また、健康増進にもつながります。

企画政策班長



コースとしては、小引の農村広場から白崎青少年の家までの間の山道を整備する予定です。

**問** 道の整備だけではなく、簡単な広場や、お弁当を食べられるような休憩所、そして、景色を楽しめるような場所を作ること考えているのか。

**答** あの付近は桜が美しいので、桜並木に遊歩道を付けるイメージです。景色も良いところがあるので、景色もありませんので、木を伐採し、全体が見えるようにしたいと考えています。

また、ベンチを設置したり、遊歩道沿いに水仙を植えようと考えています。

参考：総務政策課長

### 山の恵み活用事業 135万円

**問** 新規事業として、山の恵み活用事業補助金が予算計上されているが、その内容は。

新規事業として、山の恵み活用事業補助金が予算計上されているが、その内容は。

**答** この事業は、山村資源を活用した県の補助金事業です。

和歌山県の補助額に当町が上乗せの補助をするもので、3戸以上の農林業者等で組織される団体を対象に、紀州備長炭の生産を支援するものです。

平成29年度は、製炭釜の費用の補助です。次年度以降は、その他の支援も予定しています。



## 審議され議決

● 由良町長期継続計画を締結することができる契約を定める条例

● 日高郡公平委員会規約の廃止について

● 和歌山県と由良町の公平委員会に関する事務の委託について

● 由良町固定資産評価審査委員会委員の選任について

● 平成28年度由良町一般会計補正予算〔第4号〕

● 平成28年度由良町国民健康保険特別会計補正予算〔第2号〕

● 平成28年度由良町後期高齢者医療特別会計補正予算〔第2号〕

● 平成28年度由良町介護保険特別会計補正予算〔第3号〕

● 平成28年度由良町公共下水道事業特別会計補正予算〔第4号〕

● 平成28年度由良町漁業集落環境整備事業特別会計補正予算〔第5号〕

〔議会提出議案〕

● 由良町議会委員会条例の一部を改正する条例

● 平成29年度 由良町一般会計予算 37億3000万円

● 平成29年度 由良町国民健康保険特別会計予算 10億3000万円

● 平成29年度 由良町後期高齢者医療特別会計予算 1億5500万円

● 平成29年度 由良町介護保険特別会計予算 7億7000万円

● 平成29年度 由良町公共下水道事業特別会計予算 5億3600万円

● 平成29年度 由良町漁業集落環境整備事業特別会計予算 1億8300万円

● 平成29年度 由良町水道事業会計予算 2億6800万円

# 議案質疑

**子ども園施設整備**  
318万円

**問** 子ども園施設整備費の内容は。

**答** 参事・教育課長 ゆら子ども園の

園庭に、パーゴラ(日よけ)を設置する費用です。これによって、より安全な保育環境を整備することができます。

**問** 日よけのほかに園庭に芝生を植えたり、水遊び場が一つしかないので組み立て式のプールなどの導入は考えていないのか。

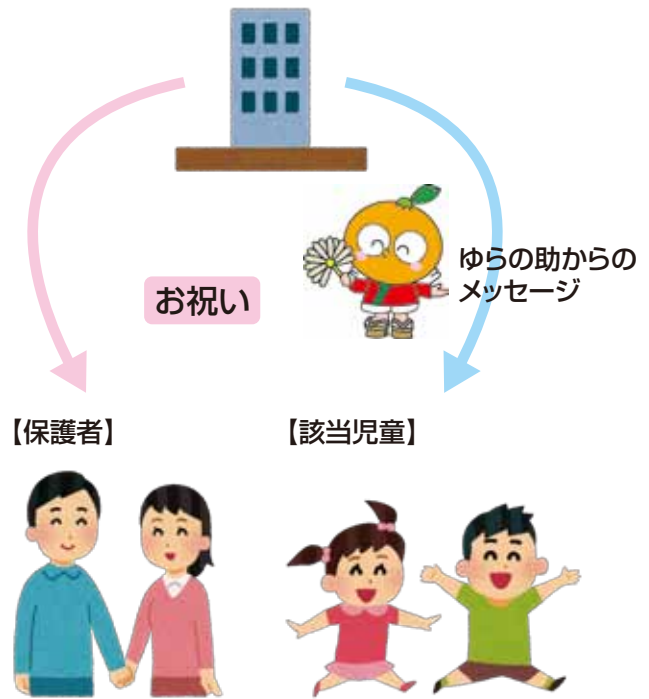
**答** 参事・教育課長 今回は、パーゴラの設置だけですが、芝生や組み立て式のプールについては、今後、検討していきます。

**子育て応援事業**  
200万円

**問** 子育て応援事業の内容は。

**答** 住民福祉課長 新政策では、1

歳から6歳までの誕生日を迎えるお子様に「ゆらの助」からメッセージカードを送らせていただき、保護者の方には、お



祝いの品と町長からのお祝いメッセージを送らせていただく事業です。

**コミュニティ活動**  
事業補助金とは  
200万円

**問** この活動事業の補助対象とは、どういうものか。

**答** 参事・総務政策課長 この事業は、宝

くじ助成金などの基金を活用してコミュニティ活動の補助をするものです。

今年度は、阿戸区の祭礼備品の修繕と小引区のAED購入となっています。

28年度は、開山興国寺で行われる門前区の行事で使用する「白い象」に対しての製作補助、以前には、里区が秋祭りの行事で使用する「御弓」等の備品整備などに補助しました。

# 一般会計

当初予算

議案質疑

一般質問

視察報告

臨時会

地域再生マネージャー  
派遣事業  
600万円

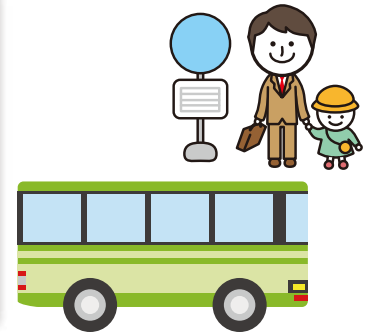
**問**

今年度、この事業に予算が計上されているが、外部専門家からのアドバイスをいただくだけで終わる、ということにならないのか。

**答**

産業振興班長

今年度は、実施体制の構築ということと、組織の中枢を担う人材の発掘、育成、また、観光地域づくりのワークショップなどを考えています。その他、商品作りとして地域の産品と資源を洗い出し、情報発信や啓発活動ということも予定しています。資料を作るということだけで終わることなく、実施につながるための予算計上です。



コミュニティバス  
から路線バスへ  
368万円

**問**

現在、畑・中・門前・阿戸地区コミュニティバスが運行されています。平成29年度中に、路線バスへ移行すると提案されているが、その経過と今後の対応は。

**答**

企画政策班長

現在のコミュニティバスについては、試行的実証実験で運行してきましたが、国土交通省の指導により、料金の適正化を進めるため、平成29年6月頃に、路線バスに移行する予定です。

タクシー運賃助成事業  
302万円

**問**

タクシー運賃助成事業は、どのような方が対象になるのか。

**答**

住民福祉課長補佐

これまででは、80歳以上の一人世帯、または身体障害者手帳1級、2級及び療育手帳のA1、A2を所持している方がおられる世帯に対して、交付をしております。

**問**

助成内容と有効期限は。

**答**

住民福祉課長補佐

30枚綴りの乗車券で、タクシーの小型及び特殊車両での、初乗り料金のみ助成です。

有効期限は、4月1日から3月31日までの1年間です。

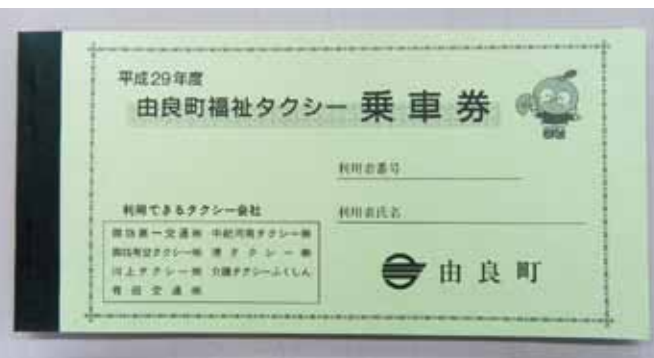
**問**

運転免許証の期限が切れて、失効された方への救済措置について、どのように対応していくのか。

**答**

参事・総務政策課長

免許の有効期限が切れた方には、その旨を申請していただき、ある程度柔軟に対応したいと思っています。



# 一般会計議案質疑

## 子ども未来塾の拡充

79万円

**問**

子ども未来塾は、これまでの実施に加え、新たに2カ所で実施ということですが、現状の、週2時間程度では、目標の「学習習慣の定着、学習意欲、「コミュニケーション」の向上」に対しての効果は期待し難いと思われます。回数、時間面での拡充を検討しては。

**答**

参事・教育課長

現在、衣奈会館で毎週土曜日2時間程度の学習支援を行っております。

新たに白崎会館、中央公民館で実施していく予定です。

できるだけ多く実施できるよう、検討はしていきたいと考えております。



子ども未来塾(衣奈会館)

## 健康ポイント制度

100万円

**問**

健康ポイント制度について、歩いた距離や歩数でもポイントが貯まるというようなことは考えられないか。

ハイキングコースを新設することでもあり、歩いた観光客の方に、町特産品を進呈するのは良いPRになると思われるので、そういったことも検討してはどうか。

**答**

住民福祉課長

他府県には、歩くことでのポイント制を実施しているところもあります。

今のところ、健康診断や健康に関するイベントへの参加でのポイント付



## 就学援助費について

1200万円

**問**

就学援助費は、いつ認定をし、いつ頃支給するのか。また、該当基準と該当者数は。

**答**

参事・教育課長

認定については、3月末までの申請後となる予定です。また、支給については、認定後、早急に対応しています。

就学援助受給資格基準は、「児童扶養手当受給者」、「ひとり親家庭医療受給者」、「ひとり親で、非課税世帯」、「要保護者」、「準要保護者」です。

該当者数は、平成28年度で小学校では35名、中学校で12名程度です。

# 特別会計議案質疑

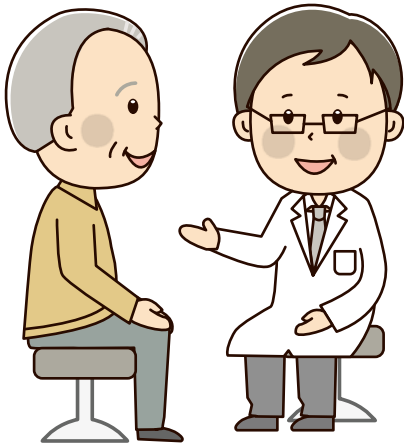
## 国民健康保険

### 平成30年度から、国保制度の根本的な改革へ

**問** 来年度から、和歌山県が、国保運営の中心的な役割を担うと聞いている。何が変わるのか。

**答** 住民福祉課長 今年の夏までに、運営方針が決定される予定です。

国保の財政運営については、市町村から都道府県へ責任主体が変更します。



由良町は、和歌山県が

決定した国保納付金を県へ支払い、「資格管理・保険給付・保険料率の決定・賦課徴収・保健事業」などを引き続き業務として担います。

**問** 保険料率は、どうなるのか。

**答** 住民福祉課長 和歌山県30市町村において、医療費が一番少ない所と多い所では、約1・7倍の格差が存在するため、当初から県内で統一の保険料は、難しい状況です。

## 後期高齢者医療

### 国の特例措置は

**問** 平成20年度、後期高齢者医療制度の発足時から、国は特例措置を設定してきたが、今年度からどう変わるのか。

**答** 住民福祉課長 75歳以上の方の保険料は、「所得割(年収に応じて納める部分)」と「均等割(全員が納める定額部分)」を合算したものです。

特例措置とは、制度発足当初から「所得や収入が少ない方」や「74歳まで社会保険の被保険者であるが、被扶養者のため保険料を支払っていない方」などに対して、本来の軽減制度から、さらに軽減しています。

低所得者の方は、本来7割軽減ですが、国の上乘せ特例措置によって、引き続き9割軽減され、

年間保険料は4400円です。

しかし今年度、この特例措置で変わるのには「被扶養者であった方」の均等割が、7割軽減になります。

〈\*ただし、元被扶養者であっても、世帯の所得が低い方は、均等割の軽減(9割軽減、8・5割軽減)が受けられます〉

また、年収約153万円〜約211万円の方の所得割が、特例的に5割軽減されていましたが、今年度から2割軽減に変わります。

〈\*均等割の定額部分は変わりません〉

# 議 案 質 疑

## 公共下水道事業 里区と門前区の供用 開始は、いつごろに

**問** 当初、里区と門前区については、

平成30年度に供用が開始される計画であったが、進ちよく状況は。

**答** 町長

平成30年度を目標に、公共下水道事業の完了を目指して進んでいきましたが、現況の残工事等を精査したところ、完了は厳しい状況となっております。

今年度に事業計画を見直し、平成35年度を目標に事業認可の変更申請をしたうえで、できる限り早期に完了したいと考えています。

**答** 参事・上下水道課長

今年度は国道42号線に布設する幹線管渠（和歌山行き車線）を優先して整備し、一日も早

く畑・中地区の管渠と接続したいと考えています。これにより、「畑・中クリーンセンター」が不要となり、大幅な経費の節減が期待できます。幹線管渠以外では、里・門前地区の国道部田辺行き車線側の管渠工事を実施します。

## 下水道の使用料改定 (公共下水道漁業集落排水)

### 「人数制」から 「従量制」に移行

**問** 平成30年5月1日以降、下水道使用料金の体系は、どのように変わるのか。

**答** 参事・上下水道課長

現行の下水道使用料金は、「人数制」で徴収していますが、平成30年5月以降は、下水を流した量に応じて使用料金を決定する料金体系である「従量制」に移行したいと考えています。



**問** 「従量制」に移行する理由は。

**答** 参事・上下水道課長

由良町を除く県内の公共下水道は、全て従量制であり、また、全国的にほとんどの自治体の料金体系も従量制です。下水道事業（公共・漁業集落）は、処理する下水の量が増加すると電気代や滅菌用薬品など様々な費用が増えます。

よって、従量制は、使用者が下水を流す量に応じた料金設定でありますので、より公平感があり、わかりやすい料金設定になります。



# 計 会 別 特

## 水道事業

「用途別料金」から「口径別段階別増料金」に移行

**問**

現行水道料金の問題点と料金シテムを改定する理由は、

**答**

現在の料金体系は、「用途別料金」制で、小規模な事務所や店舗併用住宅などは、営業のためにほとんど水道を使用しなくても業務用料金が適用されるため、負担が大きくなるなどの不公平感があります。

(基本料金は、家事用1600円、業務用4600円)

平成30年度以降は、より公平感がある「口径別段階別増料金」に移行します。

新しい水道料金の基本方針は、使った水量に応じた料金の設定をし、

メーター口径により営業利益をあげる「事業所」と「一般家庭」の基本料金を差別化します。

## 介護保険

今年度の要介護・要支援の認定者数は

**問**

要介護認定、要支援認定されている方は、何名か。

また、在宅と施設で介護を受けている方は、それぞれ何名か。

**答**

住民福祉課長

要支援認定者が136名、要介護認定者が310名、合計446名です。1年前と比較しますと、20数名は増加しています。

在宅で介護を受けている要支援1から要介護5の方々は、271名です。

また、施設で介護を受けている方は、90名です。

**問**

平成12年度から第1期目の介護保険事業が始まり、特別養護老人ホームが管内に少なかった関係で基準月額

の保険料は、2683円でした。

平成29年度が第6期目の最終年度で、基準月額の保険料は5940円です。

平成30年度から始まる第7期目の基準月額、という手順で決定するのか。

**答**

住民福祉課長

今年度において、「高齢者福祉計画」

と「介護保険事業計画」を策定します。

その中で、第7期目、30年度から32年度の介護保険料を決めるために、3年間の「介護給付費」や「町の高齢者人口」などを勘案しながら、一人当たりの保険料を算定します。

そして今年度、「第7期介護保険事業計画等策定委員会」を立ち上げ、その委員会の委員の方々に議論していただき、第7期目の基準月額の保険料が決定します。



当初予算

議案質疑

一般質問

視察報告

臨時会



玉置 一郎 議員

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は4名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。

●「地域再生マネージャー派遣事業」とは

○官公庁から観光地域づくりの重点的支援を受けられる

**問**

平成29年度の由良町の新政策案として、600万円計上されている「地域再生マネージャー派遣事業」は、「地域が自立し、雇用に結びつける仕組みづくりを外部専門家による助言や指導、そして、事業の具体的なマネージメントを活用して推進する」とあります。

昨年、12月21日、一般財団法人「ふるさと財団」などから派遣された外部専門家の方が地域再生をテーマとして、由良町を2日間にわたって現地調査をした結果、報告会において、どのような「提言」や「提案」があったのか。

**答**

町長

今後の由良町についての提言として、「多くの魅力的な人がいる」「思いはあるのに、つながっていない」という指摘がありました。

しかし、町全体でそれぞれの強みと得意分野を合わせること、可能性が広がります。「地域づくり」「商品づくり」には、来訪者の期待を感じる視点や特産品を購入しようとする人の視点が重要です。

町の魅力を伝えるのは「地元の人」「訪れて感動した人」、そして、「町職員」「町民一人ひとり」です。

今できることに一歩を踏み出す必要があり、今

後さらに、一人当たりの個人旅行の単価を上げていくために、より質の高い交流メニューを創出していく必要があるという提言がありました。

**問**

提案と提言を受け、今後、どのような対応を考えられているのか？

**答**

町長

今後の対応として、「観光DMOの主体となる人材の発掘・育成」と「観光内容・6次産業化に伴う産品」の企画案の練り直しと「情報発信」に取り組むために、29年度は「地域再生マネージャー派遣事業」に取り組みます。

町内における「地域DMO」の候補法人として、「財団法人白崎プラットフォーム」を観光庁へ申請しました。

登録されると、「まち・ひと・しごと創生本部」

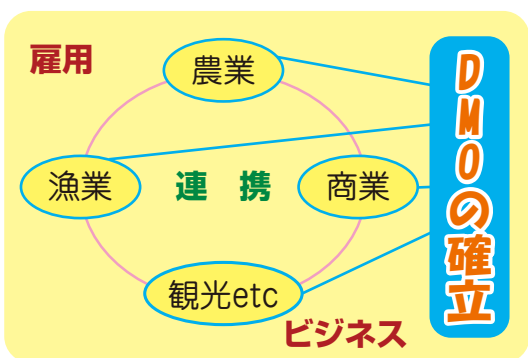
の新型交付金による支援対象になり、重点的支援を受けられることとなります。

その他の質問

●平成28年度から始まった「企業版ふるさと納税」を活用した「まち・ひと・しごと創生」を

**地域再生**

地域住民が主体となり、地域が自立的に活動



【用語説明】

「DMO」とは、「地域と協同して観光地域づくりを行い、観光資源に精通した調整機能を備えた法人」



川出 純 議員

# 一般質問



● 中央公民館にエレベーター設置は可能では

○ 昇降機で対応を

## 問

私は、以前耐震工事を請け負った建設事務所の方とお話し

させていただきました。現在の建物には、構造上

エレベーターを設置できないので、建物から5メートル以上離してエレベーターを設置し、渡り廊下をつければ設置可能ということでした。

高齡化が進む中で、ますます公民館の果たす役割は重要と考えますので設置をお願いしたい。

## 答

町長

12月議会でもお答えしましたが、平成21年度に耐震補強工事を実施する際、いろいろ検討し、昨年の12月にはスロープの検討もしましたが、設置することができないということでした。

現時点では、備えている昇降機を利用していただきたいと考えています。

エレベーターがあれば安易に上がれるというのは十分承知していますが、現時点では手すり等を設置し、高齡者の方々

も安全に上ったり、下りたりしていただくようなことをお願いしたいと考えています。

## その他の質問

● 防災啓発の強化を



由良 守生 議員

# 質問

## ● 風力発電の低周波による健康被害

● 健康に被害を及ぼすような測定結果が出ていません

### 問

私は平成23年12月議会から、由良谷を見下ろす21基の風力発電による低周波被害を訴えてきました。

風力発電が回り出せば、独特な低周波が周辺地域に広がります。

周波数0ヘルツから10ヘルツまでを、止まった時と回った時を比べると、大体20デシベルの差があることがわかりました。エネルギーで100倍ものアップをしていました。卓越した周波数成分では、尖頭化した被害成分が顕著に観測されます。30デシベル以上のアップが連続しています。1ヘルツ、2ヘルツ周辺の卓越した被害成分が連続することで、この挙動

が周辺住民に被害を与えていることは明らかです。

由良風力発電所の近傍で測定した低周波測定図があります。我が家の居間で測定したデータと比べると、その音源から伝播してきたとしか言いようのない、疑いの余地のない関連が認められます。1ヘルツ、2ヘルツで顕著に卓越する音源は、風力発電以外にはありません。

風力発電由来の低周波空気振動こそが、我が家の低周波音の原因であることが明確に立証されました。

是非、風力発電を止めて誠実な被害調査をしてください。たくさんの方が、風力発電の有害な低周波で苦しんでいます。

### 答

町長

低周波の被害についてですが、何回か測定を行っており、由良議員が指定した民間の測定業者が測定を行なっても、健康に被害を及ぼすような結果が出ておりません。

また、健康に若干気になる人がいれば、かかりつけの医師、保健師、御坊保健所に相談していただいたらと思っております。しかしながら、現在において、健康被害の苦情は、なかったと聞いております。



# 一般



中谷 茂生 議員

●観光客が気軽に飲食できる施設増加のための方策を

### ○創業者に支援

## 問

由良町内で昼食できるところが少なく、探すのに苦労したということがラジオで話されていました。これは観光振興にとってはかなりのマイナスイメージであり、急ぐべき課題ではないか。町が中心となつたたとえば「地域おこし協力隊」の人材を活用するとか、当初は町営でも運営する、といったことは考えられないか。

## 答

### 町長

今後の取り組みとして、新たに町営での施設の立ち上げは考えて

いませんが、地元の鮮魚等を使った料理を漁港施設内で提供できる「漁港レストラン」や、使用されていない公共施設での飲食サービスの運営を考える創業者等があれば、町として支援していきたいと考えています。

### ○白崎海洋公園に遊戯施設を

### ○施設設置を検討

## 問

観光客が利用できる、遊具や施設がいくつか考えられ、必要だと思われませんが、観光施設設置についての見解は。

## 答

### 町長

海洋公園は、町内の観光スポットです。滞在時間の向上のためハイキングコース、あるいはパークセンターなどの施設を活用する方法を考えています。子どもたちが来ても、

ゆっくりと遊べるようなような施設を、指定管理者と協議しながら検討を進めていきたいと考えています。

### ○小学校統合の検討は

○統合によるメリット・デメリット両面から確認している

## 問

小学校統合についての検討は、今年になって、どのようになされているのか。

## 答

### 教育長

小学校統合につ



いて教育委員会では、自由に意見交換を行っている段階です。

統合によるメリット・デメリット両面から確認しているところですが、一般的なことだけでなく、由良町の特性を踏まえた議論が、今後必要だと考えています。

### ○その他の質問

●和歌山県学習到達度調査の検証は  
●こども園での「教育」内容は

# 行政視察

日程 平成29年2月7日・8日

場所 海上自衛隊幹部候補生学校・参考資料館 (広島県江田島市)  
海上自衛隊呉地方總監部 (広島県呉市)

## ゆら創生総合戦略調査特別委員会

### ゆら創生総合戦略・防災対策の連携について学ぶ

2月7日、8日に、委員8名、町職員2名は、広島県江田島市で、海上自衛隊幹部候補生学校や参考資料館を視察し、呉市では海上自衛隊呉地方總監部において、幕僚長から同隊の編成や任務の説明を受けました。

同部隊の管轄エリアが和歌山県から四国、九州の東南部までとなり、今後懸念されている南海トラフの巨大地震などの発



幹部候補生学校(江田島市)

生の際、防災対応への取り組みや自治体との連携について、研修や意見交換を行いました。その中で、由良町での由良湾防災対策やヘリポート建設などに対して興味を示され、有意義な視察研修となりました。

また、呉市が経営している大和ミュージアムや防衛省の施設、海上自衛隊呉史料館、通称「鉄のくじら館」などの施設視察を行いました。当日は、

平日にもかかわらず、これらの施設に多数の観光客が訪れており、呉市の観光客誘致につながっています。

海上自衛隊由良基地分遣隊を有する当町においても大いに参考になる研修でありました。



呉地方總監部(呉市)



護衛艦「いなづま」船上

## 人事

由良町固定資産評価審査委員会委員任期満了に伴い  
たけの ひさし  
**竹野 寿氏**  
(門前160番地)  
を引き続き選任すること  
に同意しました。

当初予算

議案質疑

一般質問

視察報告

臨時会

# 第1回臨時会 議長・副議長を選出

【平成29年2月24日】



議長  
藤田 富三

すとともに、職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

現在、由良町の人口も減少している中、若い世代の定住対策や高齢者の方の福祉、また、基幹産業の活性化、防災対策など様々な課題をかかえています。

由良町議会としても、これらの課題に積極的に取り組み「安全で安心して住める町づくり」を目指し、町民の皆様のご期待に添えるよう最善の努力をいたす所存でございます。

こうした中、私たち町議会といたしましては、町民の皆様からの様々な声に耳を傾け、皆様方のニーズを把握し、その声を迅速に、町政に反映させるよう取り組んでいくとともに、議員一人ひとりがその責務を自覚し、さらなる自己研鑽に努め期待される議会を目指し、精一杯努力しますので、どうか今後とも皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長  
山名 実

今回の正副議長の改選で、このたび、副議長を務めさせていただきましたことになりました。微力ではございます

が町発展のため、議長を補佐し、公正で円満な議会運営、住民から信頼される議会を目指し努力していく覚悟です。

今後とも町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

このたび、平成29年第1回臨時会におきまして、議長に就任いたしました。身に余る光栄であり感謝いたします

## 委員会構成が変更されました

### 【常任委員会】

委員会名	委員長	副委員長	委員	委員	委員
総務文教常任委員会	馬場博文	中谷茂生	中村真一	森三枝子	玉置一郎
			川出 純	山名 実	
産建厚生常任委員会	中村真一	森三枝子	中谷茂生	由良守生	吉田ひとみ
			玉置一郎	藤田富三	

### 【議会運営委員会】

議会運営委員会	委員長	副委員長	委員	委員	委員
議会運営委員会	玉置一郎	吉田ひとみ	中村真一	森三枝子	中谷茂生
			由良守生	馬場博文	川出 純
			山名 実		

### 【特別委員会】

ゆら創生総合戦略調査特別委員会	委員長	副委員長	委員	委員	委員
ゆら創生総合戦略調査特別委員会	馬場博文	中谷茂生	中村真一	森三枝子	吉田ひとみ
			玉置一郎	川出 純	山名 実

### 【議会広報編集委員会】

議会広報編集委員会	委員長	副委員長	委員	委員	委員
議会広報編集委員会	中谷茂生	中村真一	森三枝子	吉田ひとみ	玉置一郎
			川出 純	山名 実	

### 【総務文教常任委員会】

一般行財政、町有財産、消防、教育及び他の委員会に属しない事務についての調査及び議案、請願の審査に関すること

### 【産建厚生常任委員会】

農林水産、商工、観光、労働、都市計画、土木、住宅建築、水道、社会福祉、保健衛生、環境衛生、国民健康保険、下水道事業についての事務及び議案、請願の審査に関すること

### 【議会運営委員会】

議会運営に関すること

### 【ゆら創生総合戦略調査特別委員会】

地方創生による町の総合戦略策定に関する調査、研究に関すること

### 【議会広報編集委員会】

由良町議会だより「こんにちは！議会です」の編集発行に関すること

